

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	職能訓練センター運営			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援 課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立舳松職能訓練センター条例			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	企業への就労が困難な障害者等に対し、一定の訓練と技能養成を行うことによって、その就労・自立を推進するとともに、同和問題を始めあらゆる人権問題の速やかな解決に資するため、昭和63年に同和対策事業の一環として舳松職能訓練センターを設置した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内在住の障害者等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	職業能力の開発や技能養成などの職業訓練と生活指導を通じて、社会適応性の向上を図り、就労・自立の実現をめざす。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【職業訓練業務】 ・ 訓練生個々の障害種別や程度に応じた適切な訓練と技能養成を行うことで、障害者自身の作業意欲や作業遂行能力の向上を図る。 ・ 訓練生との共同作業、施設外での研修や見学を通じて社会参加への意識と社会適応能力の向上を図る。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人 堺市就労支援協会 等				

Ⅲ. 投入量

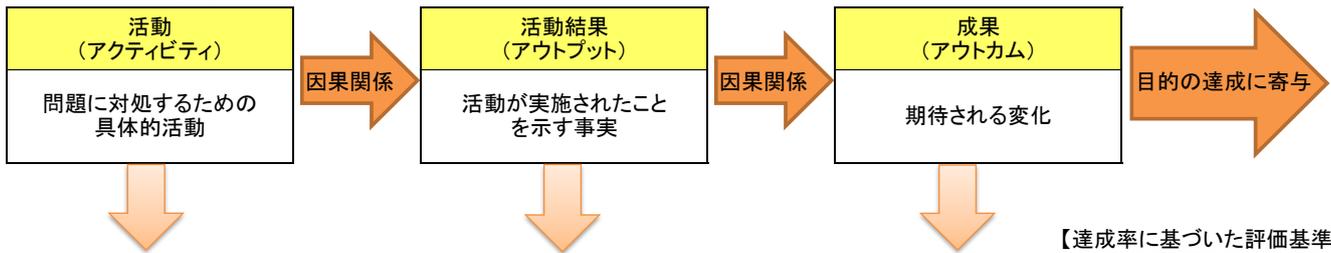
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	19,181	24,858	24,886	25,848	
	主な事業費内訳	需用費(光熱水費等)	千円	3,628	4,305	3,993	4,489
		役務費(保険料等)	千円	72	69	98	91
		委託料(職業訓練及び維持管理業務等)	千円	15,481	20,484	20,795	21,268
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	7,200	8,200	8,200	8,100	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	26,381	33,058	33,086	33,948	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	職能訓練センター運営	シート番号	11-137
-------	------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>職業訓練の内容としては、部品の組立などの作業を行っている。作業は全員が同じことをするのではなく、個々の障害特性や理解力などを踏まえながら作業手順を変えるなどの工夫を行い、訓練生の作業意欲や遂行能力の向上を図っている。このような支援の積み重ねにより、能力が高まり、訓練生1人が就労のため平成30年11月に退所した。また、社会参加への意識の向上を図るため、6月には他の就労施設の見学も行った。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	訓練生数(3月末現在)	目標値	-	-	-	-	
		実績値	11	10	10	-	
		達成率	-	-	-	-	
		評価	-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		3月31日現在における訓練生の数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	(空欄)	目標値					
		実績値					
達成率							
評価							
算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>	<p>作業内容の把握などに時間のかかる方に対しても、個々の理解力に応じ、きめ細やかな支援を行うことで、平成30年度は1人が就労に結びついている。</p>
----	--	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。